

関西学院大学新聞

2012年6月1日 第802号



発行 関西学院大学新聞編集部
〒662-0891 西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
HP：http://www.justmystage.com/home/kgpress/
E-mail：kgpress2009@yahoo.co.jp

史上初の4連勝へ

第35回総合関関戦

第35回総合関関戦が6月14日から16日までの3日間、関西大学の千里山キャンパスで開催される。総合成績は17勝16敗で、現在3連勝中。本学史上初の4連勝を果たしてほしい。



今年の関関戦のスケジュールが決定した。目標に向かってひたすら突き進むという意味の熟語「邁進」だ。各部活動にとって関関戦は重要な試合であり、目標である。1つの試合だけで終わらせずに関関戦にも繋がるように。今年、関学が勝利すれば史上初の4連勝となる。「関

日付	部活	時間	場所
1日目 14日(木)	開会式	12時10分	中央体育館
	ゴルフ	7時30分	有馬ロイヤルゴルフクラブ
	サッカー	14時	中央体育館
	バスケットボール男女	14時30分	中央体育館
	フエンス	10時	東体育館1F
	バドミントン	10時15分	東体育館1F
	男子バレーボール	10時30分	中央体育館2F
	ラクロス女子	11時	中央グラウンド
	ラクロス男子	14時30分	中央グラウンド
	野球	13時	高槻キャンパス アイスマリーナ
	アイスホッケー	17時10分	中央グラウンド
	テニス	9時	中央テニスコート
	健康マラソン	9時30分	中央グラウンド
	準硬式野球	10時	北グラウンド
	卓球	10時	中央体育館1F
	合気道	10時	東体育館2F 第2体育室
	漕艇	10時	神崎川
	ソフテニス	10時	社会学部テニスコート
	アーチェリー	10時	アーチェリー場
	器械体操	10時	天六キャンパス 体育館
	相撲	11時	関大相撲場
	重量拳	11時	重量拳場
	ハンドボール女子	11時30分	中央体育館2F
	ハンドボール男子	11時30分	中央体育館2F
	拳法	13時	東体育館1F 第2体育室
	レスリング	13時	東体育館1F 第3体育室
	古武道	13時30分	中央グラウンド
	ラグビー	14時	中央グラウンド
	空手道	14時	凱風館3F
	剣道	14時30分	中央体育館1F
	開会式	17時	中央体育館1F

(5月25日現在)

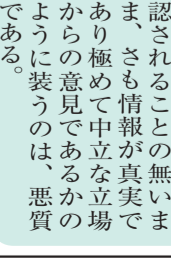
大はあるけど関学は一度も4連勝したことがない。そこを何とかしてでも勝ちたい」と若佐谷さんの思いは強まる。また今年も関学が試合会場となるので、関学生からすればアウェーな状況に今年も4連勝がかかっている。関学は一度も4連勝したことがない。そこを何とかしてでも勝ちたい」と若佐谷さんの思いは強まる。また今年も関学が試合会場となるので、関学生からすればアウェーな状況に今年も4連勝がかかっている。

若佐谷さんを中心に体育会本部の実行委員が関関戦の運営にあたる。今年の関関戦特別メニューは恒例の「粘り勝ちうどん」(320円)や「関関戦を盛り上げ丼」(400円)などが食堂で用意される。また、「4つ星☆クリア」(150円)や「白星を飾りロールケーキ」(150円)などデザート系のメニューも追加されている。上ヶ原キャンパス発の無料の応援バスツアーの企画や、関関戦応援タオル(500円)の販売など関関戦に向けて士気が高まっている。

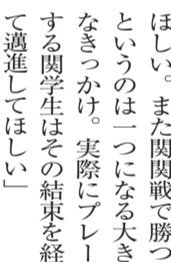
最後に若佐谷さんは関学生に向けてメッセージを送った。「体育会の目標に向かって必死で戦う姿を生で見てほしい。応援だけでも力になるし、喝も入れてほしい。また関関戦で勝つというのはいくらもなすきつけ。実際にプレーする関学生はその結果を経験してほしい」

今年春から正門を入ったすぐの場所に125周年のカウントダウンパネルが設置されている。詳細が気になるという学生も多いのではないだろうか。本学は今年から開始している。2014年は本学に耐震性など将来式典やイベントを行うにあたり改善すべき点がいくつも挙げられていた」と建替えの意義について話す。

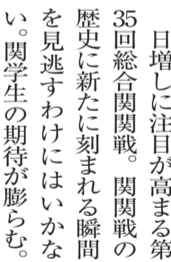
お笑い芸人のオセロの中島知子さんと「自称霊能者」に関するニュースが連日放送されている。一刻も早く彼女が健全な生活を送れるようになってほしいものだ。今回考えたみたいなのは、中島さんの騒動についてではなく騒動を報じるマスコミについてである。ワイドショーなどでの出来事が紹介される場合、「中島さんが霊能者」に洗脳されて搾取を受けている」という構図が示される。おそらく真実なのだろうが、果たしてその「真実」を連日報道されているような形で流し続けるのはいいことなのだろうか。報道の社会的な存在意義というものは、情報を広く知らしめることによって一般市民を守るというものだ。決して報じる出来事に偏りがあつたり、主観が混じっていたりしてはいけない。マスコミの矛盾は、情報をただ伝えるだけの鏡のような存在を標榜しておきながら、実は巧みに情報を操作していることだ。主観を加えることで行政の手の届かない部分や悪い部分を発表できるのはいいことかもしれない。意見を持って報道することがマスキの勢力拡大につながり、結果的に市民の利益になるという考え方もある。しかし、十分に合理的蓋然性が確認されることの無いまま、さも情報が真実であり極めて中立な立場からの意見であるかのように装うのは、悪質である。



輝く未来へのカウントダウン



応援タオルと試食会場へ



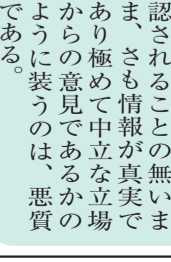
応援タオルと試食会場へ



輝く未来へのカウントダウン



輝く未来へのカウントダウン



輝く未来へのカウントダウン

世界に一つのエールを送る

応援団総部



一体となって応援するスペシャルステージ

5月6日に神戸市新長田の六間道商店街で応援団総部によるイベント「そんなあなたを応援します」が開催された。2006年から行われているイベントで、指導部・吹奏楽部・チアリーダー部が一体となって応援パフォーマンスを披露した。

人々を繋いでいく応援

参加者に向けて指導部が中心となってエールを送った。今回は10組の応募があり、応援団総部からの世界に一つのエールを受け取った。応募理由について「元気をもらいたい」、「日頃頑張ってくれている人に感謝の気持ちを伝えたい」と話す人が多かった。応援団総部からの迫力ある応援を受け、「若い力に触れて元気と勇気をもたらした」と笑顔で話した。

人形たちの心を表現

Theater Hi-Wind

も動きも人間そのものである。彼らはイサナが死んだ悲しみを心に抱えながら毎日暮らしていた。しかしある日、流浪の旅人サラと出会うことを契機に、彼らが生みの親イサナの死を乗り越えていくというストーリーである。



難役を演じきったキャストたち

見どころの一つは、ピエロらしいコミカルさと愛する人を失った悲しみのコントラストが作品全体に猟奇的な空気を漂わせていたところである。人間に近い人間ではないという難しい役をキャストたちは見事に演じきった。

脚本も起承転結がしっかりとされている。3兄弟はそれぞれ違った方法で自らの悲しみを乗り越えようとする。最終的に3人もイサナの死を受け入れることができ、観客も納得の行くハッピーエンドを迎える。

演出を担当した上山麻巳子さん(法・3)は「序盤から観客を魅了した。Theater Hi-Windは素晴らしい演技で表現し尽くし、高い完成度で観客を魅了した。」

写真で伝える復興

みちのくフォトキャラバン

4月23日から27日まで本学図書館1階エントランスにて移動写真展「みちのくフォトキャラバン」が開催された。

写真展は東日本大震災復興支援のための学生組織「Youth for 311」から生まれた団体「みちのくキャラバン」により行われた。写真展は全国各地の大会場でアンケートも実施

「そんなあなたを応援します」は3部から構成されている。第一部は、応援団総部の各節による単独ステージだ。チアリーダー部ドルフィンズはロックのテーマ曲に合わせてリズム感溢れるダンスを披露した。また、吹奏楽部による明るく軽快な曲の演奏場面では、観客の間から自然と拍手が起り一体感を感じさせた。



現在までの経過をたどることができる

第二部では「頑張っているあなたを応援します」ステージと題し、学生や一般市民が観客に向けて語り、被災から復興への経過を物語る。悲惨な被災地だけでなく、現地の人々の笑顔や、活動する学生ボランティアの姿の写真など様々である。また被災者のエピソードを掲載しているなどメッセージ性の強い写真展であった。

5日間で学生や教員を含む約450人が来場した。会場ではアンケートも実施

行武繁宏さん(文・3)は「学生ボランティアが東北に行って、現地から帰ってきてからできることは何

かというところで写真展を催した。震災の風化を防ぎ、関心を高めて欲しい。東北に行くまでいかに電車でのおばあさんに席を譲るなど些細なことにならばいい」と中村さんは話す。

今年度になり新入生も入催されるので興味を持った人は足を運んで欲しい。

身近に感じるボランティア

春の献血週間

4月12日に西宮聖和キヤンパスで、16日から20日に西宮上ヶ原キヤンパスで宗教総部献血実行委員会による春の献血週間が行われた。この春の受付者数は434人、採血者数は316人であった。

献血週間は年に4回、定期的に献血バスを呼んで行う。今回献血週間について、宗教総部献血実行委員会委員長中村祥子さん(国際・3)に話を聞いた。

「学生に向けて献血バスを呼んで献血への協力をお願いしている。新年度が始まり、委員会のメンバーが変わって最初の献血週間。たくさんの方に献血を、お菓子や飲み物を用意されている。また献血と併行に骨髄バンクドナー登録もできる。」

「献血は愛する人の死を乗り越えるための大切なことだ。お菓子や飲み物を用意されている。また献血と併行に骨髄バンクドナー登録もできる。」

興味を持った人は来て欲しい。関学での献血を知ってもらい、献血を身近に感じたい。献血週間に来てもらえ

「学生に向けて献血バスを呼んで献血への協力をお願いしている。新年度が始まり、委員会のメンバーが変わって最初の献血週間。たくさんの方に献血を、お菓子や飲み物を用意されている。また献血と併行に骨髄バンクドナー登録もできる。」

今年度の献血週間は6月13日と14日に神戸三田キヤンパスで、18日から22日まで西宮上ヶ原キヤンパスで行う。興味を持った学生はぜひ献血に足を運んで欲しい。

学生に理解求める

祝日授業の実施

本学はなぜ祝日も授業を行うのか。疑問を抱く学生も少なくないだろう。

有効な解決策を模索

大学の授業スケジュールは文部科学省の省令で定められた大規模な変更は難しい。学費の確保と秋学期の授業日数の確保と秋学期における定期試験を早めることを基本的な考えとした。しかし月曜日より以外の曜日においても授業回数確保が困難となり2009年度に再び改定された。夏季休暇期間の短縮、そして祝日授業の実施である。抜本的なスケジュール変

地域から愛される関学生へ

学生のマナー問題

年々関学生のマナー問題が顕在化しつつある。象徴的だったのが、1月に世間を騒がせた関学生のマクドナルド出入り禁止事件である。一部の学生だけの問題では済まないのが現状だ。

関学生のマナー問題について本学学生課の椿本さんに取材を行った。椿本さんは「ここ数年、10年前と比べて大学に寄せられる苦情の数が目に見えて増加している」と話す。データとして2010年度に寄せられた苦情は、バイク迷惑駐輪に関する52件、自動車迷惑駐輪に関する21件、運転マナーや騒音に関する5件、その他

「関学生のマナー問題について本学学生課の椿本さんに取材を行った。椿本さんは「ここ数年、10年前と比べて大学に寄せられる苦情の数が目に見えて増加している」と話す。データとして2010年度に寄せられた苦情は、バイク迷惑駐輪に関する52件、自動車迷惑駐輪に関する21件、運転マナーや騒音に関する5件、その他

原因として椿本さんは「学生の増設などによって、学生数自体が増えているのも要因のひとつ。あれだけの

学生が一気に通学すれば、道路に学生が溢れるのは当然。しかし、近隣住民からマナー改善の要望が高まっているのは事実なので、教員と職員がしっかりと学生に指導して行かなければならない」と語る。

現在も本学は地道な学生への指導と苦情への対応を行っているが、さらに根本的に学生のマナー意識を変える活動も企画中である。また、私たち学生は社会の一員であるという自覚が必要だ。い



テントにて献血への協力をうながす

も当事者である学生が意識を変えなければ意味がない。マナーを守り、地域から愛される関学生を目指す心構えが求められる。

市民のカー

〒662-0822
兵庫県西宮市松籬荘7番20号
阪急甲東園下車 南徒歩1分

商店街で学生活躍

関関COLORS



東北応援イベントは大盛況

大阪の池田市栄町商店街を活性化させようとしている学生団体、関関COLORSを取材した。取材に応じてくれたのは、代表の高野匠司さん(商・4)と、副代表の稲葉由希子さん(商・3)だ。

関関COLORSは、本学と関西大学の学生で構成される団体だ。池田市栄町商店街の空き店舗を利



みんな家族のように仲良し

地域密着型ボランティア

高野さんは「メンバーは個性的でそれぞれ違うが、一つだけ共通点がある。それは、みんな積極的に人と関わって、いけてチャレンジ精神旺盛だ。」

関関COLORSは、本学と関西大学の学生で構成される団体だ。池田市栄町商店街の空き店舗を利

障がい者支援向上へ

総合支援センター

本学では障害のある学生を支援するために定期的にノートテイクの募集をしている。ノートテイクは、地域の活性化に貢献できるように頑張ってきた」と今後の意気込みを話してくれた。

情熱溢れる関関COLORSたちが商店街を盛り上げてくれることは間違いないだろう。興味がある人は見学に行ってみてはどうだろうか。

本学では障害のある学生を支援するために定期的にノートテイクの募集をしている。ノートテイクは、地域の活性化に貢献できるように頑張ってきた」と今後の意気込みを話してくれた。

情熱溢れる関関COLORSたちが商店街を盛り上げてくれることは間違いないだろう。興味がある人は見学に行ってみてはどうだろうか。

る学生に対する取り組みについて話を聞いた。

本学は古くから障害のある学生を受け入れてきたという歴史を持っている。各学部がそれぞれの学生に対して支援を行ってきたが、全学均一で高品質な支援体制を目指し、2006年に教務部キャンパス自立支援課が、2011年4月に総合支援センターが設置された。本学は日本学生支援機構の「障害学生修学支援ネットワーク近畿ブロック」拠点校になっている。

徳田さんは、「拠点校として他の高等教育機関に対しても、講習会を開くなどして障がい学生修学支援体制の整備や取り組みの共有化を図るのも私たちの役目」と話した。

ノートのテイクの募集をかけるのとすぐに枠が埋まってしまうという。人気が理由として、「皆が困結

新資格に期待大

宗教文化士とは

神学部2号教室で認定資格宗教文化士の受験説明会が行われた。宗教文化士とは、日本宗教学会と「宗教と社会」学会の連携のもとに宗教文化教育推進センターが認定する資格である。宗教に関するコミュニケーション能力を高めることが目的とされている。

「このボランティアをしたという学生もいるくらい、大きな充実感が得られるのだろう」と林さんが話した。

障害の有無に関わりなく学生が、自分の力を最大限に活かせる大学になってほしい。

ケーション上の摩擦が顕在化してきた現代において、宗教の基礎的な知識の必要性に迫られている。試験範囲は、キリスト教などの世界的な宗教から、日本の神道まで幅広くカバーしている。具体的には、「ルターが生まれたのはどこか」、「1000年以上の歴史を持つ日本の社寺の歴史を持つ」というような

問題が出される。受験説明会場で、神学部の土井健司先生が宗教文化士の内容、試験概要、受験までの流れを説明した。資格取得に要する能力は、世界中の宗教の多様性を理解し、それぞれの価値観を生かしていく能力だ。海外でのビジネスにおいても教養、あるいは常識として宗教文化の知識が必要とされることも多い。テストでは「スクールモットーであるMastery For Serviceを体現できるように努めていきたい。本学の125周年とも重なる良いタイミングだ」と述べた。マコーミックさんの本学ラグビーチームの活躍も話題となった。

普段の生活に直結するような知識が問われる。土井先生は、「今年で2回目のまだまだ若い資格試験だが、これから社会での有用性はますます大きくなっていくだろう」と今後の宗教文化士の展望を語った。

ラグビー日本へ

マコーミックさん新ヘッドコーチ就任

4月から、本学ラグビー部ヘッドコーチに、元日本代表キャプテンアンドリュー・マコーミックさんが就任した。マコーミックさんは、コカ・コーラウェ

ストやNTTドコモなどの企業のラグビーチームのヘッドコーチを務めたこともある指導者として有名だ。約15年に渡って日本に在籍し、日本語もつかいこなす、日本のラグビー界の事情にも精通している。

また、本学のラグビー部について、「まずはディフェンスの精度を高めた。そして、大事なところで着実に得点を獲得できるチームにしていきたい」と話した。「グラウンドの外でも仲間のことを考えてくれる。アワーを設けている。アワーに行われる演奏会などはほとんど実施されない。しかし、各学部などの奨励者自身の本学における体験など、興味深い話を聞くことができる。

ラグビーが国技として親しまれているニュージーランド出身のマコーミックさんが、今後本学ラグビー部を学生日本一に導いてくれることだろう。

日進月歩 政策実現への代償

4月3日に政府は2013年度の国家公務員採用について新規採用者数を09年の8511人から3780人へと56%削減することで閣議決定した。野田佳彦首相は採用削減に関して「大震災の痛みを国民皆で分かち合おう」とコメントした。今後国民にも負担が増えるが、政府も公務員削減などの身を切る政策を行っているという主旨の発言なのである。日本は長年の財政悪化に加えて昨年は震災に見舞われ、国家の窮地に立っている。国民に負担が増えるのはやむを得ないが、民主党政権の政治は国民と「痛みを分かち合う」というよりも国民に

「痛みを押しつける」と表現した方が適切である。そもそも今回の採用削減の目的は国家公務員総人件費削減にある。しかし、人件費を削るのであれば、新規採用を減らすという方法は全く適していない。なぜなら、現在の国家公務員総人件費が5兆3000億円であるのに対し、今回削減できる人件費はおよそ179億円でしかないからである。また、新規採用者数の減少によって国家公務員全体の年齢構成がいびつになるといふ弊害もある。就職氷河期の現在において、わずか0.34%の費用削減のために、政府自らが率先して若者の雇用を

減らすとはまさに本末転倒だ。景気の悪い時にこそ雇用を創出するのが政府のすべきことではないか。では、一体なぜ政府はこの時期に国家公務員新規採用削減の方針を打ち出したのだろうか。手がかりは野田首相の「痛みを分かち合おう」という発言に隠れている。同じ時期の3月30日に政府は閣議で野田政権最重要課題の消費税率引き上げ関連法案を決定した。最終的に2015年10月には消費税率を10%まで引き上げるといふ内容である。現在の悪化した財政を立て直さず、現状のままでは賄いきれなくなる膨大な社会保障費を補うために消費税率の

引き上げは必要だと政府は主張するが、国民が非難の声を上げるのを目に見えている。そこで、国民だけが負担を被るのではなく、政府も身を切り財政改善に向けて努力しているとアピールすることにより非難を和らげようと考えているのではないか。言わば今回の採用削減は国民に向けたパフォーマンスでしかないの

本学に消費税率引き上げが必要であり実現したいと考えるのなら、政府は真に自らの痛みを伴う改革を行わなければならない。国家公務員総人件費削減に加えて、新規採用者に加えて給与が高額な50代以上の人

キリスト教主義学校として 早天祈祷会

4月13日から7月13日までの毎週金曜日に、ランバ記念礼拝堂で早天祈祷会が行われている。朝早くからの礼拝にもかかわらず、多くの学生や教職員が参加している。また、一般の人々にも開かれた礼拝であるため、近隣の人が訪れることも多い。

早天祈祷会は春学期と秋学期の授業期間中に行われる。春学期早天祈祷会では、各学部や中等部などの奨励者が話をしている。本学ではキリスト教主義

早天祈祷会も本学のキリスト教の精神を体現するもの1つである。チャペル・アワーだけでなく、早天祈祷会にも参加し様々な人の話に触れてもらいたい。



学内外で話題のマコーミックさん

関学 PROFESSORS COLLECTION

大学の先生とオシャレという言葉はなかなか結びつかないかもしれない。しかし、実際の先生たちは、カジュアルな着こなしやエレガントな装いの、魅力的な人たちだ。先生たちの洗練されたファッションをとくにご覧あれ。



院長 ルース・M・グルーベル先生

グルーベル先生のファッションでのモットーは「安くても良いものを買うこと」だ。普段の買い物はユニクロやアメリカ発会員制ウェアハウスのコストコなどリーズナブルなお店を利用するという。「ブランドにはほとんど興味がない。バーゲンで自分に合ったものを安く買うのが楽しい」と先生は語る。

普段のファッションについて「色で遊ぶのが好き。今日のファッションも最近衣替えをしていて新しく発見した組み合わせを試してみた。年を重ねるにつれ黒などは避け、明るい色を選ぶようにしている」と言う。確かに赤いワンピースに花柄のジャケットと、非常に若々しい印象を受ける。故郷ウィスコンシンに色

のカウンセリングをしてくれる人がいて、似合うと勧められた色を買ったとき参考にするそうだ。自分に一番似合う色は緑だと断言する。同席した秘書課の三芳さんも迷わずうなずくほどだ。

身につけるアクセサリーはシンプルで、宝石はあまり好まない。今日つけているイヤリングは旦那さんがスリランカに行ったときに買ってきてもらったものだ。バッグも機能性を重視しA4のファイルが入るかどうかが選ぶときのポイントだ。華やかなイメージの先生だが、今回の取材で堅実な一面を見せてくれた。

先生は「そこまで高価ではないがとても丈夫で使いやすい」とコメント。書類などがたくさん入り機能性、デザイン性ともに優れたバッグだ。



カウンセリングの時にももらった色の見本。全体的に秋っぽい色を勧められた。買い物時はこれを参考にする。



スイスの名門ブランドショパールの腕時計。ショパール110周年を記念して作られたモデルで、ニューヨークで購入した。



シックな装いの中にポップなLeSportsacのペンケース。おしゃれな先生はディテールに気を抜かない。



門田先生の研究対象は英語を中心とした言語学だ。当然外国に行く機会は多く、服を買うのはもっぱら海外に出かけた時である。先生はよく買い物をする場所としてニューヨーク郊外にあるwoodbury commonをあげる。世界最大規模のアウトレットで、先生は「ブランド物でも半額で買うことができるのが魅力だ」と言う。また、毎年1月の第一土曜日にミラノやローマで行われるバーゲンにも何年かに一度訪れるそうだ。

先生に今日のファッションについて聞いてみると、「まだ5月だけど、夏を先取りした色合いにしてみた」と答える。確かにブルーのシャツに白のジャケットは夏を感じさせ爽やかだ。普段の服装では「好きな色はオレンジ。カジュアルを上手に着こなしたい」と語る。

また、先生は「ファッションは自己表現のひとつ。日本では服装が統一的印象を受ける。例えば、就職活動ではみんな同じリクルートスーツを着ているが、もう少し個性があってもいいのではないかと感じる」と自らのファッション感について話した。



法学部教授 門田修平先生



蛇柄の財布はアクセントとなってオシャレだ。ウォレットチェーンは昔から着けているこだわりの一品。



社会学部准教授 鈴木謙介先生



帽子好きな先生には欠かせないアイテム。色合いをアウターと合わせるバランス感覚は見習いたい。

学生たちの間でもおしゃれだということで評判の鈴木先生。ファッションのこだわりについて聞くと「こだわりは特にはない。ただ普段着を着ているだけ」という意外な回答が返ってきた。細身な体型に合わせてコーディネートしているうちにロックテイストになっていったのだ。バンドをしていた経歴も原因の一つだ。ジーンズも自身のサイズに合うものを探すと、レディースものがしっくりくる。最近では、服などを買うのは主にネットショッピングだ。実際に店舗

の中では、三宮の高架下や、東京のアメ横が先生お気に入りの場所だ。お店に行くと、アクセサリなどを衝動買いしてしまうことが多いという。靴や帽子を見に行くことが多い。もともとはアクセサリが嫌いだったが、身に付けているうちに慣れて好きになった。中学生のときにはデザイナーになりたかったと言う先生。そういったメディアに興味を持っていたからこそ社会学を研究し始めたのだろう。若者の心を忘れないクールな先生だった。



国際学部教授 山本雅代先生

国際学部の山本雅代先生は、初夏にふさわしい爽やかな装いだ。「特別な客人がいるわけでもないの、基本的には動きやすさ重視。スーツは肩が凝るのであまり着たくない」と先生は話す。夏であれば授業にはアロハシャツを着ていく。原色が好きで、授業では真っ赤なシャツを着ることもある。先生はブランド物には興味がない。デザインがより大切なのだ。むしろアクセサリなどは、ダイヤなどよりもネイティブアメリカンの伝統工芸のようなエキゾチックなものがお気に入りだ。家族を訪問しにカリフォルニアのパークレイに行くときには、よく近くのお店でアクセサリを見て回るそうだ。「みんなが目につかないいい物を見つける方が楽しい。他の人と全く同じではつまらない」と語った。若い頃は、ミリタリー風のファッションを好んで着ていた。また、ヘンリーネックのようなカッチリしたスタイルにもハマったと言う。先生の趣味は車の運転だ。カジュアルで、すがすがしい服装でドライブする先生はきっと素敵だろう。

ユニセフから購入したバックパック。売り上げの一部が募金になるのがポイント。デザインもシンプルでいい。



難波先生の学術的考察

社会学部教授 難波功士先生

社会学部の難波功士先生は、メディアの幅広い分野を領域横断的に研究している。もともとは広告の研究をしていたのだが、若者文化、ファッションについての著書、論文の執筆も、その考察に定評がある。アメリカ村ができた経緯や時代背景の調査も行ったと言う。先生は「先生方はあまりお互いにファッションについて話すことがない。そのためか、みんな自分のスタイル、信念を気兼ねなく貫き通すことができる。それがいい作用を及ぼすこともある」と本学教授のファッションに関して語った。特に鈴木謙介先生については「ミュージシャン的な意識が高いということもあり、あれほど若々しくおしゃれ指数が高いのだから、パフォーミング・アーツをする者としての心構えだ」と分析した。「学生たちのファッションはここ最近ある程度パターン化しているように思う。衝撃的なファッションというのが現れない時代になってきているのではないかと最近の若者のファッションについて論じた。また、「流行は思わぬ形で生まれることがある。男性向けのファッション誌が女性にウケて女性誌として名を成す」と興味深い事例もあると展開した。先生自身は、ファッションにそれほど気を遣わないそうだ。「近くのお店で手早く決めてしまう。機能性を重視する」と自身の服選びについて話した。「ただ最近に入試部長だということもあり、ある程度フォーマルな服装を選ぶようになった」と語った。



教授の背中

難波功士

社会学部 教授

今回は社会学分野の研究を幅広く行っている社会学部の難波功士先生に取材した。現在は社会学部入試部長であり、講義は開講していないが、現代広告論やポピュラーカルチャー論といった内容を取り扱っていた。今の広告がどうあるのか、社会的、歴史的な背景が広告の在り方にどう影響したのかということも研究している。また、ゼミを受け持っており、特にテーマを設けていない。他大学の広告論ゼミと、ある企業に向けて商品づくりすれば売れるのかといったことを考えている。

なぜ広告の分野の研究を行っているのか。先生は大学卒業後、広告代理店に勤務していた。休職して大学院に行くことになり、仕事に関係のある広告を研究することになった。後に広告の分野だけではなく、メディアの分野や雑誌、ファッション、音楽といった戦後若者文化史についても研究した。最近の研究は戦後の日本の大衆文化に与えたアメリカの文化的影響はどのようなものであるか、米軍基地が政治的経済的側面だけでなく、文化的な面ではどう影響したのか、50年代60年代のアメリカに対する憧れをもう一度考え直そうとしている。また他の研究には関西の私鉄文化についてである。関西の私鉄にはそれぞれ独自の色を持っていて、そういったものがどうして形成されてきたのかなどを研究している。先生が特に今興味を持っている「闇金ウシジマくん」と

多分野に渡る社会学研究

今回は社会学分野の研究を幅広く行っている社会学部の難波功士先生に取材した。現在は社会学部入試部長であり、講義は開講していないが、現代広告論やポピュラーカルチャー論といった内容を取り扱っていた。今の広告がどうあるのか、社会的、歴史的な背景が広告の在り方にどう影響したのかということも研究している。また、ゼミを受け持っており、特にテーマを設けていない。他大学の広告論ゼミと、ある企業に向けて商品づくりすれば売れるのかといったことを考えている。

なぜ広告の分野の研究を行っているのか。先生は大学卒業後、広告代理店に勤務していた。休職して大学院に行くことになり、仕事に関係のある広告を研究することになった。後に広告の分野だけではなく、メディアの分野や雑誌、ファッション、音楽といった戦後若者文化史についても研究した。最近の研究は戦後の日本の大衆文化に与えたアメリカの文化的影響はどのようなものであるか、米軍基地が政治的経済的側面だけでなく、文化的な面ではどう影響したのか、50年代60年代のアメリカに対する憧れをもう一度考え直そうとしている。また他の研究には関西の私鉄文化についてである。関西の私鉄にはそれぞれ独自の色を持っていて、そういったものがどうして形成されてきたのかなどを研究している。先生が特に今興味を持っている「闇金ウシジマくん」と

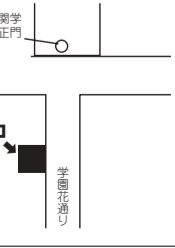
なんば こうじ
1984年 京都大学文学部卒業
1984年 株式会社博報堂入社
1993年 東京大学大学院社会学研究課修士課程修了
1996年 関西学院大学社会学部専任講師
2009年 関西学院大学博士(社会学)取得

最後に学生に向けて「早く進路を決め込んで、就職に向けてしっかり準備し、できる限りたくさん引き出しを多く持ち、人に面白いと思われる、何かを提供できる人間になって欲しい。そのために、みなさんの本を読んで欲しい」とメッセージを送った。



思わず見とれてしまうチョコレート

・住所 西宮市上甲東園3-9-8
 ・電話番号 0798-56-8758
 ・営業時間 11:00~19:00
 ・定休日 日・月曜日



『麒麟の翼』 東野 圭吾



東野圭吾は、直木賞や本格ミステリ大賞など数々の受賞歴を持つ作家である。映画化もされた『麒麟の翼』は、彼の作品である「加賀恭一郎」シリーズの第9作目にあたる。

本作のテーマは「悲劇からの希望と光」だ。テーマ通りに、作中には複雑に絡み合った悲劇と家族の愛、そしてそこから生まれる希望が描かれている。物語の舞台は東京・日本橋だ。日本橋は五街道の起点であるため、「ここから羽ばたく」という意味を込めて、翼のある麒麟の像が設置されている。この麒麟の像の前で、1人の男性が亡くなったことから物語は始まる。その会社は労災隠しを

場付近におり、被害者の鞆を所持していた不審な男性だった。しかし、男性は事故に遭い意識不明の重体になり、さらに調査が進むに連れ、不審な男性は被害者部長を務めていた会社の元社員だったことがわかった。その会社は労災隠しを

していたことが発覚し、被害者の家族はひどいパッシングに遭うこととなってしまった。果たして、不審な男は本当に犯人なのか。なぜ被害者は瀕死の状態にもかかわらず麒麟の像の前までやってきたのか。複雑に絡む謎に加賀恭一郎が挑んでいく。

本作品には一貫して「親から子への愛」が織り交ぜられている。自分を大切に思ってくれている人の存在の大きさを改めて実感することができる物語となっている。

『成功は誕生日のようなもの』 オードリー・ヘップバーン

この言葉は、世界的にも有名な女優、オードリー・ヘップバーンの名言だ。正確には、「成功は誕生日の確かなもの。待ちに待った誕生日が来ても自分は何も変わらないでしょ」という言葉だ。

非常に興味深い一言だ

富と名声を手に入れた彼女がこの言葉を発したというのは、私達凡人にとっては大きな励みになるだろう。

しかし、本当に大切なものはそこではない。ある目標を達成したとしても全て終りなのではなくそこからまた次の目標に向けて邁進していかねばならないのである。常に上を向いていなければならない、という人生において大切なことを彼女がこの言葉で教えてくれている。常に向上していきたい、という極めて前向きな思いがこめられているのである。私たちは、人生とはどこまでも続くものだという意識を煩わしい日々の生活の中で忘れてしまいがちだ。だが、もう一度、見えないゴールに向かって進み続ける気持ちを取り戻したいと思う。

関学周辺の素敵なお店

シヨコラティエール デリスモア

vol.32

見て楽しむシヨコレート専門店

へのこだわりとして、「味はもちろん見た目も工夫している。女性のお客様はまず目で楽しむので、カラフルな色や変わった形をした、見て楽しいチョコレートを販売している」と語る。

チョコレート以外にもマカロンなど色々な種類の洋菓子を買うことができる。ぜひ今度のおやつには「シヨコラティエール デリスモア」のチョコレートを買って試してみようか。



K.G. studio

今回のO.Bインタビュー「タイムスリップ」は、関西テレビで活躍するアナウンサーの村西利恵さんです。学生時代の思い出を語ってくれました。「K.G. people」は、創立2年目の演劇集団関奈月の赤江翔馬さん(社・3)に話を聞きました。

K.G. PEOPLE

#2. 演劇集団関奈月 赤江 翔馬さん (社・3)

演劇集団関奈月は今年で創立2年目を迎える。関奈月の創立時のメンバーである赤江翔馬さん(社・3)は、初の新人部員を迎え、より一層劇団の活動に熱意を傾けている。



関奈月には現在新入生を含め15人の部員が所属している。また、年3回の公演に向けて、日々基礎練習など稽古に励んでいる。しかし、昨年関奈月を立ち上げたときは部員も3

人のみで手探りによる活動が続いた。赤江さんは「部室の掃除から始まって新入生確保のための歓迎公演まで、網渡りな1年でし

今後は新月祭での演劇に向けても取り組んでいきたいと赤江さんは考えている。「今年の関奈月は本格始動です。ぜひ私たちの演劇を見に来てください」と笑顔で語った。

セミだったんですけど、根岸セミでは勉強以外の体育会などにおいても頑張っている子が何人もいて、励まされる良いライバルに出会えました。大学時代は心地良



報道のやりがいを感じるの、入ってきたニュースを最大限に伝えることができた時です。その日に伝える朝から準備してきた

ついで、礎を築く4年間にしたいですね。大学生活を「最後の学生生活」と捉えるのか、「社会人への入り口」と捉えるのか、それだけで4年間の大学生活の過ごし方は随分変わってくると思います。何をやるかは人それぞれですが、必ず未来につな

就活で大学の4年間の同級生はライバルになりま

タイムスリップ 第三回 村西利恵さん (03年卒)

関西テレビのアナウンサーとなった村西利恵さん。学生時代の思い出やアナウンサーを目指したきっかけについて語った。

は社会学部と思いがちですが、祖父の影響もあり、伝統のある経済学部に行くことを決めました。

経済学部でのゼミのディベートは人と話すことの練習になりましたね。ゼミのディベートはアナウンサー試験のグループディスカッションの時に役に立ちました。もともと人と話すのは得意な方でした。KYにならず、前に話していた人の話を踏まえ、別の人の話を振るようになり、試験に受かることができました。



村西 利恵 (むらにし・りえ)

1980年大阪府吹田市生まれ。1999年関西学院大学経済学部に入。大学時代はモデルとしても活動。2003年経済学部卒業。関西テレビ放送にアナウンサーとして入社。2006年夕方の報道番組「スーパーニュースアンカー」のキャスターを務める。

ニュースが、放送前に入ってきた大きいニュースに取り換えられるときがありま

文芸部 読み切り小説 『ある風景』 小ライイス

買物の帰り、少し長い道に差し掛かった。冷えた風が、ビニール袋を鳴らす。暮れかけた仄暗い空は単一色で、天気は良くない。雲が多いらしい。もう少し前なら、この時間には辺りは真つ暗だった。勘違いしたように点いている街灯は、目立っているように目立っていない。

「ああ、あれ。満開になるころには、雨、降ってないんだって」
今日一番の風が吹いて、手元が騒がしいが、桜の木はさらりと涼しげな音をたてた。彼女を見る。目は合わせてくれないし、ほとんど表情も出ていないが、ほんの少しだけ、歩みが速まったような気がする。いつの間にか、さっきまで吹いていた風はすっかりやんで、聞こえる音は二人分の足音と、荷物の音だけになった。
「どうか。じゃ、その時はどこかいっか」
僕は言う。時期になれば、近くの公園も、電車の沿線も美しいピンク色で視界を覆うだろう。しかし、果たして、それは……。
頷いた彼女は「でも」と前置きして、
「いい。この道があれば、それで」
そうだ、何を考えていたのだろう。二人でいるこの時間が、一番美しい風景を見ていられるのだ。
桜の道を抜けた。大きな道に出て、少し行けば僕らの家は、すぐそこにある。

あなたのコンテキスト能力はどれくらい？

日常の中のコンテキスト能力

美容院で「春っぽく」と頼んだり、居酒屋で「なにかおつまみのものありますか」と尋ねたりします。すると曖昧な注文にもかかわらず美容師さんも店員さんも察して要望どおりにしてくれます。これもコンテキスト能力があつてのことだといえます。コンテキスト能力がおもてなし精神やホスピタリティ精神に通じているというのは納得できます。ですが時には「こんな髪型頼んでない」「おつまみにしては量が多い」などクレームをつけられることもあるでしょう。「最初にはつくり言わなかったのはそっちなのに」と、上の例に限らず私たちも感じる場面はあると思います。言語的観点から考えても欧米の言葉には主語があるけど日本語にはありません。なので共有時間や共有体験など相手と共有するコンテキストの量が多いほどコミュニケーションも取りやすくなるのかもしれない。

【エアーイン】

「明鏡国語辞典」を発行する大修館書店が全国の中高校生を対象に募集する「もつと明鏡」大賞。みんなで作り出す国語辞典！の最優秀作品に「エアーイン」が選ばれました。意味は「その場の雰囲気に溶け込むこと」。使用例は「あの女の子たちのグループにはエアーインしにくい」。ちなみに空気が読める人のことを「エアリーダー」と呼びます。エアーインは大学生の間でも使うことが増えてきているようです。以前はKY（空気が読めない）という言葉が流行しましたが、ついに空気を讀んで溶け込む状況を表す言葉が登場してきました。まさにコンテキスト能力と言えます。しかし「エアーイン」は言葉は新しいですが、古来からこのスキルは要求されてきたのかもしれない。たとえば短歌や俳句の文化です。短い限られた文字数のなかで詠み手は感情や情景を伝え、読み手は読み取っています。

アメリカの文化人類学者であるエドワード・T・ホールが世界各国のコンテキスト能力を調査しています。彼は「ハイコンテキスト文化」と「ローコンテキスト文化」という識別法を唱えています。彼はコンテキストを「コミュニケーション」に記述されています。関学の図書館にも置いてあるのでぜひ読んでみてください。

る言語、共通の知識、体験、価値観、ロジック、嗜好性」と定義しています。そしてハイコンテキスト文化は「コンテキストの共有性が高い文化のことで、伝える努力やスキルがなくてもお互いに相手の意図を察しあうことなどなく通じてしまう環境」のことです。言うまでもなく日本はハイコンテキスト文化におけるコミュニケーションスタイルです。詳しくは彼の著書「文化を超えて」に記述されています。関学の図書館にも置いてあるのでぜひ読んでみてください。

6月に入り春学期も折り返し地点となってきました。4月頃は規模の大小はあつても誰もが新しい環境で、新しい人と出会い、新しい出来事が1つはあつたのではないのでしょうか。そこで皆さんが使っていたと思われるのが「コンテキスト能力」です。皆さんは「コンテキスト能力」を知っていますか？ 私たちに備わるコンテキスト能力について、多方面から紹介します。

コンテキスト能力

コンテキスト能力は言葉で説明しなくても分かり合える能力を言います。簡単に言うと空気が読める力のことです。コンテキストは直訳すると「文脈」です。こう言うと難しく感じてしまうかもしれませんが、私たちが日頃からコンテキスト能力を使っているはずですよ。「空気を読めば分かるでしょ」「そこは汲み取つてよ」などと感じる場面はありませんか？

コンテキスト能力のコンテキストとは人と人がコミュニケーションするうえで、共有している価値、習慣、時間、美的感覚すべてを含めたものを意味します。とは言つてもコンテキスト能力は正式な学術用語ではありません。ですが、最近ではテレビの特集でも扱われるほど注目は高まっています。はっきり言葉にしなくてもその場の空気、雰囲気を察して物事に対応する。私たちが当たり前のように行っていることをスキルと捉えコンテキスト能力と呼んでいるのです。そしてこのコンテキスト能力が日本人は世界一だそうなんです！日本人の長所とも言えるかもしれません。しかし、日本人は空気を読みすぎる、空気を遣いすぎる、これは良いことなのか？ という意見もあります。自分と他者は違う存在であり、すべて分かるというのは不可能です。空気を読むといっても他者の考えが自分の感じ取っていることと同じかは分かりません。意見は様々ですが、皆さんも一度自分のコンテキスト能力について考えてみてはどうでしょうか？

文学部総合心理科学科で社会心理学を専門としている三浦麻子教授にコンテキスト能力についてお話を聞いてきました。

「コンテキスト能力」は心理学の学術用語ではないので、それそのものを扱った研究は知りませんが、例えば相手の言葉のニュアンスを言葉の内容で推量するのではなく、さや表情などを手がかりとして推量する非言語的コミュニケーション能力に関する研究は関連があるかもしれません。とはいえ、表情にも（普遍的な基本表情の存在も指摘されていますが）文化差があり、またそもそも顔の造作も違うので、多国籍の比較研究からコンテキスト能力を決めるのは困難です。つまり、日本人の「コンテキスト能力」が高いかどうかを実際に検証することは難しいのではないのでしょうか。

また、日本人は自分の行動を決める際に周囲に合わせることを優先するタイプであることです。これは文化的自己観という自分をどう捉えているかに関する考へ方にある文化差に根ざしています。日本人は相互協調（依存）的、自分が人との関係によって決まるという意識を強く持っています。そのため自分の行動が

人になんか思われるのかを意識しやすいためです。それに対して欧米文化圏の人は独立的な自己観を持っていて、あまり周囲の人に流されません。言い換えれば、日本人にとつてその場の「空気を読む」ことは生きていく際に重要であり、またそうした機会を経験する可能性が高いです。そのことが「コンテキスト能力」をより発達させることにはあり得るかもしれません。

メディアの多様化にもなつてコンテキストも多様化した現在、私たちが直面するコンテキストは多様化しています。メールで顔・絵文字を駆使するのは、コンテキストを整えるための方略の1つです。人がコンテキストやそれに付随する情報から相手の意思を推察しようとして、あるいはそこに自分の意思や感情を表現しようとして、図ることは変わりありません。好むと好まざる、あるいは善し悪しに関わらず、私たちはコンテキストの中にあり、それと付き合い続けることは間違いないでしょう。

編集後記

かつて「世界一じゃないとダメなのか」と発言した蓮舫議員がなでしこジャパンに賞賛を送るとツイッターは大炎上となりました。空気を讀んでいない発言とみなされたためでしょうか。これもコンテキスト能力が高いゆえにでしょうか。

今回の特集では各文章であえて曖昧な語尾、歯切れの悪い感じを残しているつもりです。これを機に日本人の長所ともいえるコンテキスト能力を自分はどう使っているのか、考えてみてください。

全部正直に言っていたら世の中パニックになります。逆に伝えたくても言葉で表現できないこともあります。難しいですね（笑）

関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに
★ ★ ★ ★ ★
楽々教習！

大学生協
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(079)
562-2995 (代)

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL
SAS
SINCE 1963

公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)